

## パブリックコメントの結果について

目的	広く住民等から意見を募集し、計画に反映させるために実施
期間	令和5年1月11日(水)～2月10日(金)
公開対象	「第4次地域福祉活動計画(平成5年度～9年度)」(案)
周知方法	区のお知らせ(令和5年1月11日号) 社会福祉協議会ホームページ
公開方法	○閲覧場所の設置 すみだボランティアセンター、すみだボランティアセンター分館、墨田区役所 に閲覧場所を設置 ○ホームページによる公開
意見提出方法	閲覧場所、郵送、ファクシミリ、メール、ホームページ
意見募集の結果	意見者数 5人(計8件)

No.	意見・提案の概要	意見・提案に対する社会福祉協議会の考え方
1	基本理念の中の「ゆるやかなつながり」という文言が印象的だった。適度なつながりを求める人が増えている。そういった人たちとどのように知り合い、協力しあえばよいのか。	課題の早期発見と困ったときに助けを求める環境づくりに「地域のつながる力」の強化は必要です。世代を超えた交流の場である地域福祉プラットフォーム事業を充実させることなどを通じ、つながりやすい地域づくりを目指します。
2	いわゆる制度の狭間で公的サービスが利用できない人もいます。積極的に社協が介入して、そういった人たちを少しでも生活しやすい状況にしていってほしい	生活上の困りごとや悩みに対し、必要とされるサービスを適切に提供するとともに、必要に応じて専門機関との連携を図ります。
3	町会などの地縁の団体で若い世代の担い手が不足していることが課題となっている。社協はさまざまな事業の中で多くの地域住民と関わっているのだから、そういった方々同士をつなぐ役割に期待したい。	地域福祉活動セミナーやすみだボランティアまつり、すみだ地域福祉・ボランティアフォーラムなどの開催を通じ、さまざまな分野の活動者同士が交流できる機会を作ります。
4	墨田区内の企業、学校に通う人たちは、日中、墨田区内で活動できる貴重な人材だ。特に災害時などに大きな支えになると思うので、日頃から企業や学校と連携するべきではないか。	ボランティア活動への理解を深める福祉教育を推進するとともに、区内の企業、団体等に対し、社会貢献プログラムの提供や災害ボランティアへの協力を促します。

5	<p>求められる地域活動やボランティア活動は、多様に変化しているのに、その変化に柔軟に対応しているとはいいがたいと感じる時もある。今回の計画にあるように、地域や多機関、社協同士がうまく連携していったほしい。</p>	<p>社会状況の変化に合わせて事業を見直したうえで、ボランティアや地域活動者の人材発掘と育成及び支援を充実させていきます。また、社協間、関係機関との情報共有や課題解決のネットワークの充実を図ります。</p>
6	<p>公共サービスや施策だけでは解決できない生活課題を住民・関係機関が相互に協力して解決に導くことは社協の大きなミッションだと思うが、それに対してどのように社協が動いていくのか。</p>	<p>困りごとや悩みごとに、職員が適切に相談対応し、地域の活動者によるサービスを提供すると同時に、必要に応じて専門機関との連携を図ります。</p>
7	<p>複合化・複雑化した課題を抱える世帯への支援については、関係部署、機関との連携、横断的な対応が必要だと感じている。</p>	<p>地域福祉プラットフォームに配置するCSW(コミュニティソーシャルワーカー)を中心に、本人や家族等の状況に寄り添いながら、多機関と連携し、課題の解決に向けた支援を行います。</p>
8	<p>ボランティアや地域活動に長年携わっている活動者でも、活動している事業以外の他の社協の活動を知らないことも多い。他の事業や活動にも参加してもらえよう社協の事業を横断的に知ってもらい、参加してもらえよう取組みが必要ではないか。</p>	<p>様々な機会をとらえて、社協の活動をより分かりやすく紹介するように努めるほか、情報共有の仕組みを作ります。</p>